

# 第6章



## 環境保全に向けての参加の促進



## 第6章 環境保全に向けての参加の促進

### 第1節 環境教育・環境学習の推進

#### 1 環境教育【教育指導課、環境政策課】

##### (1) 環境教育のねらい

学校においては、持続可能な社会の実現を目指し、児童生徒の環境問題への関心を高めるとともに、人間と環境の関わり方や環境に対する人間の責任・役割について理解させ、環境の保全やよりよい環境の創造に向け、生涯にわたって主体的に行動できる能力や態度を育成することが大切です。

そのためには、以下のことが求められます。

- ①教育課程への適切な位置付けと、年間指導計画に基づいた指導
- ②全教職員の共通理解と推進体制の確立
- ③地域の人材や自然、素材（ひと・もの・こと）を生かした学習活動の工夫

##### (2) 「学校版エコライフチャレンジしまね」の推進

- ・環境に負荷の少ない学校運営を目指して、平成18年度から県内全ての公立・私立・附属学校を対象にして開始しました。
- ・各学校での消費エネルギーを入力すると、自動的にグラフ化して表示したり、二酸化炭素の削減量を表示したりできます。また、各学校の取組計画や、活動レポートを掲載し、県民に広く公開することで、情報の発信や共有化も可能です。
- ・平成28年3月31日現在、290校の登録（県内の全ての小・中・高等学校・特別支援学校の76%）がありました。
- ・「学校版エコライフチャレンジしまね」のURL  
URL <http://www.ecoschool.jp/scl/>

##### (3) 学校における3R・適正処理学習支援事業の実施

次世代の子どもたちが、リサイクルに取り組む企業等に出向き、循環型社会についての理解を深めてもらうことを目的とし、中学校・高等学校・特別支援学校を対象に1校30万円を上限として補助しました。平成27年度は11校に交付しました。

##### (4) 環境教育の実践例

###### ① 小・中学校の取組

###### ○浜田市立今市小学校（今市小学校緑の少年団）

浜田市立今市小学校は、平成27年度で閉校となり、平成28年度からは新設・開校する浜田市立旭小学校に移ることになりました。そこで、地域のシンボルとなっている今市小学校の「市子桜」を旭小学校に移植したいと考えた児童が「つなごう桜プロジェクト」を立ち上げました。

「市子桜」は、60年前に若くして亡くなられた市子（いちこ）さんの母親が、娘のことを偲び、ソメイヨシノ15本を今市小学校に寄贈され、校庭に植栽し、町の人々と児童が一緒に手入れをしながら大切に育ててきた桜の木です。「市子桜」は、毎年美しい花を咲かせ、今では地域のシンボルとなっています。

「つなごう桜プロジェクト」では、「市子桜」から穂木を取り、継ぎ木により約50本の苗木を育苗することとしました。児童は、夏休みも交替で毎朝水やりと観察を続けました。また、

## 第6章 環境保全に向けての参加の促進

町内ですでに閉校となっている4小学校の校庭にも地区で大切にされてきた桜があり、「つなごう桜プロジェクト」に追加してそれぞれの桜の苗木を育苗することとなりました。桜の苗木は、平成28年度から旭小学校の校庭やその周辺に植栽されます。

「つなごう桜プロジェクト」は、児童同士の縦横のつながりを深め、新しい学校の歴史を自分たちで切り開いていこうとする意欲につながるとともに、地域の人々との共通の話題となり町全体を盛り上げました。

今市小学校では、この「つなごう桜プロジェクト」をはじめとし、緑の少年団の活動として、樹木医の浅浦さんや農林振興センター、森林インストラクターの方々を招き、地域の人・もの・ことを生かした環境教育（ふるさと教育）が展開され、ふるさとの自然を大切に守っていこうとする心情や態度が育まれています。

### <活 動>

- つなごう桜プロジェクト
- 栽培活動（アサガオ、ミニトマト、サツマイモ、ヘチマ、椎茸の学習、梨の学習、稲作の学習、環境学習等）
- 緑の少年団全校活動（森林の3つの働きのお話、ネイチャーゲーム等）
- 島根県緑の少年団活動発表大会
  - 「町のつながりを桜プロジェクトに込めて」最優秀賞受賞
- 奉仕活動（「人権の花」栽培活動、小中合同奉仕作業、浜田市植樹祭での植樹活動）
- 宿泊研修（江津少年自然の家）

## ② 県立学校の取組

### ○益田高等学校

益田高校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されています。「小・中・高・地域の連携により、科学的人材を育成する環境を構築する」を研究課題として研究開発を行っています。その中の一つの活動に、2年生理数科の課題研究があります。益田ではしばしば清流日本一に選ばれる一級河川高津川が有名ですが、高津川の近くにある益田川の水質が島根県の中で最も汚染されていると知り、自分の暮らす地域に貢献したいと考えていた1つのグループが研究テーマを「益田川の浄化に向けた研究」として益田川の水質について調査研究を開始しました。

益田川の水質について、アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、リン酸態窒素の4つの要因に着目し吸光光度法を用いて測定をしていきます。現在、益田川の河川水に含まれている上記の4つの栄養塩の濃度がどのくらいであるかの指標となる「検量線」の作成に取り組んでおり、その後益田川の水を採取し分析を行い、どのように汚れているのかを科学的に検証していきます。その検証結果をもとに、益田川に必要な対応や対策が提案できるようになることを今後の目標としています。

## ③ しまね出前講座の活用

- 各学校では、県が実施している「しまね出前講座」（県民の要望に応じて県職員が出向いて話や意見交換を行う）を活用した環境学習も行われています。実施回数の多い下水道出前講座「下水道ってな～に？」では、家庭での生活排水対策の意識向上を目的として下水道のしくみや役割を実験などによりわかりやすく解説しており、23団体、974名の児童・生徒が受講しました。

【各種受賞校等】

○みんなで調べる宍道湖流入河川調査

- ・島根県知事賞
- ・国土交通省中国地方整備局長賞
- ・農林水産省中国四国農政局長賞
- ・環境省中国四国地方環境事務所長賞
- ・宍道湖水質汚濁防止対策協議会長賞

松江市立来待小学校  
 奥出雲町立鳥上小学校  
 忌部わくわくサファリ  
 出雲市立荘原小学校  
 松江市立城北小学校  
 雲南市立大東中学校

○みんなで調べる中海流入河川調査

- ・島根県知事賞
- ・島根県教育委員会教育長賞
- ・奨励賞

安来市立能義小学校  
 安来市立荒島小学校  
 松江市立美保関小学校  
 安来市立広瀬小学校  
 安来市立島田小学校  
 安来市立赤屋小学校

○環境美化教育優良校等表彰

- ・優良校 協会会長賞

出雲市立湖陵小学校

○しまね地球温暖化防止活動大賞

- ・大賞
- ・優秀賞

雲南市立吉田小学校  
 出雲市立檜山小学校  
 奥出雲町立高田小学校

○緑の少年団発表大会

- ・最優秀賞
- ・優良賞
- ・みどりの奨励賞

益田市立匹見小学校  
 松江市立玉湯小学校  
 奥出雲町立三沢小学校  
 邑南町立高原小学校  
 出雲市立南中学校  
 緑の少年団  
 緑の少年団  
 緑の少年団  
 緑の少年団  
 緑の少年団

○愛鳥モデル校

- ・出雲市立神西小学校

## 第6章 環境保全に向けての参加の促進

### 2 こどもエコクラブ事業【環境政策課】

こどもエコクラブ事業は、次世代を担う子供たち（幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加可能）を対象とした環境活動のクラブ事業で、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、（公財）日本環境協会が実施しています。

※平成7年度～平成22年度：環境省事業

平成23年度～：（公財）日本環境協会事業

表6-1-1 こどもエコクラブの登録状況

	登録クラブ	メンバー（人）	サポーター（人）
平成7年度	37	84	—
平成8年度	56	811	—
平成9年度	44	621	—
平成10年度	54	735	106
平成11年度	54	609	145
平成12年度	41	643	147
平成13年度	36	745	151
平成14年度	38	1,165	211
平成15年度	56	1,168	198
平成16年度	46	1,029	250
平成17年度	38	691	202
平成18年度	34	809	208
平成19年度	60	4,406	583
平成20年度	48	1,996	439
平成21年度	78	2,811	577
平成22年度	69	3,084	538
平成23年度	64	2,983	538
平成24年度	35	1,334	338
平成25年度	29	986	270
平成26年度	28	1,433	285
平成27年度	25	1,004	246

## 第2節 各主体の環境保全活動の推進【環境政策課】

### 1 普及啓発事業

#### (1) 環境月間行事

平成6年度から環境月間を6月に改め、6月5日の環境の日を中心として、各種の事業を実施しています。

##### ① ライトダウンキャンペーン

6月21日から7月7日までの間、ライトアップ施設や家庭の照明の消灯を呼びかけました。

また、7月7日（アース・デー、七夕）を特別実施日として、両日の夜8時から10時までの2時間、一斉消灯を呼びかけました。

#### (2) 環境保全普及啓発の広報

今日の多様化した環境問題を解決していくためには、県民、事業者及び各種団体等の自主的かつ積極的な活動が不可欠となっています。

そこで、すべての県民が環境に配慮した行動がとれるように、県の環境施策や各種月間等の環境情報について、ホームページ等の媒体を活用し広報・啓発を図っています。

### 2 環境白書の発行

本県の環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況等を「環境白書」として取りまとめ、県のホームページに掲載し、県民や事業者への公表に努めました。

### 3 環境保全活動助成事業

（公財）しまね自然と環境財団を通じて、以下の事業を実施しました。

#### ① 環境保全活動助成金の交付

県内のボランティア団体や法人が行う自主的な環境保全活動を支援するため資金の一部を助成しました。

- ・助成件数：13件
- ・助成額：2,573千円

#### ② 講師・指導員派遣事業

環境アドバイザーとして18名を委嘱し、県民や事業者が実施する研修会等に派遣しました。

- ・派遣件数：47件